

別府医療センターで持続血液ろ過透析を受けられた患者さんへ

当院では、以下の研究を実施していますのでお知らせします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡下さい。

①該当者	敗血症治療の治療目的で VCM（抗生物質のバンコマイシン）の投与を受けた患者さんで、AN69ST 膜(セプザイリス®)を用いた CHDF（持続的血液ろ過透析）を受けられた患者さん	
②研究課題名	AN69ST 膜（セプザイリス®）によるバンコマイシンの除去率の検討	
③研究実施期間	倫理審査委員会承認日より令和 2 年 3 月 31 日まで	
④研究実施機関	別府医療センター	
⑤研究代表者	山下克也	別府医療センター薬剤部 副薬剤部長
⑥研究責任者	山下克也	別府医療センター薬剤部 副薬剤部長
⑦使用する資料	平成 28 年 1 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日の期間に、CHDF（持続的血液ろ過透析）施行中に測定された、患者さん個々の VCM の血中濃度、アルブミン値を使用させていただきます。	
⑧目的	サイトカイン(炎症を起こす物質)の吸着特性の高い膜素材を使用した AN69ST 膜(セプザイリス®)が、重症敗血症および重症敗血症ショックの患者さんの治療に使用することが認可され、当院においても CHDF（持続的血液ろ過透析）の透析膜として使用されています。また、今後、敗血症治療において幅広く使用されると思われます。この研究は、当院で敗血症治療の治療目的で VCM（抗生物質のバンコマイシン）の投与を受けた患者さんで、AN69ST 膜を用いた CHDF の施行された患者のデータを基に、AN69ST 膜の VCM の除去率について検討することを目的としています。	
⑨方法	患者さんのカルテに記載されている、患者さん個々の VCM の血中濃度、アルブミン値を使用し、薬物動態学的な計算により VCM の除去率を計算します。	
⑩医学上の貢献	AN69ST 膜の VCM の除去率を知ることで、AN69ST 膜を使用した CHDF を受ける患者さんの迅速な VCM の投与量の算出が可能となり、患者さんのアウトカム向上につながると考えられます。	
⑩倫理審査	別府医療センター倫理委員会にて研究実施の承認を得ています。	
⑪公表	個人情報保護は保護したうえで、研究成果は学会や医学論文などに発表される場合があります。	
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。	
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。	
⑭利益相反	当院の利益相反委員会は、この研究に関わるすべての担当者について、この研究を行うことが個人的な利益に結びつく状態（利益相反）にないことを確認しています。	
⑮問い合わせ先	山下克也（やましたかつや） 別府医療センター薬剤部 副薬剤部長 〒874-0011 別府市内竈 1473 ☎0977-67-1111	